



遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3
☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443



原発再稼働ストップ

東電福島第一原発、事故から13年で初めてデブリを回収「3グラム」

デブリ1880トンの全取り出しはいつに？



デブリ取り出しのNHKニュース

燃料デブリの取り出し作業は、トラブルにより2回中断しました。

デブリとは
2011年3月11日、東日本大震災。1〜3号機は稼働中で炉心には燃料が装填されていた。地震と津波で電源が失われ、炉心を冷やすことができなくなり、核燃料は過熱し溶融し、格納容器を突き破り溶け落ちました。その溶け落ちた核燃料等が冷えて固まったものを燃料デブリと言います。
東電、デブリの取り出しを発表
東京電力は11月7日、福島第一原発2号機の溶け落ちた核燃料(燃料デブリ)の試験的な取り出し作業が完了したと発表しました。

だが、ようやく試験取り出しができました。
取り出したデブリは全体の数億分の1
東電は原子炉格納容器の外側に設けた「隔離箱」から、燃料デブリが入った容器を出し、現場でこの容器をさらにバケツ型の専用容器に収め、この日の取り出し作業が完了。
採取した燃料デブリの大きさは5ミリ以下、約3グラム。5日の測定では、20センチの距離で放射線量は毎時約0.2ミリシーベルトだった。今後、茨城県大洗町にある日本原子力研究開発機構の施設に運び成分などを分析するということ。

東電のホームページより (左から)、1号機、2号機、3号機



廃炉40年の計画は？

東電は40年で廃炉の計画ですが、はたして880トンものデブリ取り出しが本当に期限内にできるのかは甚だ疑問です。

放射線廃棄物の最終処分場はどこにもない

青森県六ヶ所村にあるのは中間貯蔵施設であり、最終処分場ではありません。日本のどこにも、最終処分

自民・公明政権は12月2日に健康保険証を廃止し、「マイナ保険証」の一本化を強行しようとしています。しかし、マイナ保険証をめぐる問題は山積んでいます。

マイナ保険証の利用率は9月で、13・87%。国家公務員利用率は13・58%と全国平均より低い。

遠藤れい子の笑顔でファイト
マイナンバーをめぐる問題は、マイナ保険証の利用率は9月で、13・87%。国家公務員利用率は13・58%と全国平均より低い。マイナナンバーをめぐる問題は、マイナ保険証の利用率は9月で、13・87%。国家公務員利用率は13・58%と全国平均より低い。マイナナンバーをめぐる問題は、マイナ保険証の利用率は9月で、13・87%。国家公務員利用率は13・58%と全国平均より低い。

今の保険証を廃止するな！の声をあげよう

だトラブルが続いています。全国保険医団体連合会が10月発表したアンケートでは、今年5月以降、約7割の医療機関でマイナ保険証、オンライン資格確認に関するトラブルが発生しています。その対応では、「持ち合わせていた保険証で資格確認した」が8割でした。
政府は保険証廃止を撤回せよ！マイナ保険証を強制するな！
いよいよ期限が迫ってきました。私たちの声を大きく上げて、今の保険証を継続させましょう。

柏崎刈羽原発の再稼働の是非は県民投票で決める。「**県民投票条例の制定を求める署名**」を集めています。12月28日までです。あなたも3筆、5筆と署名を集めてください。



場を受け入れるところはありません。このような計画で原発を動かすなんて、おかしいのです。